



## チモシー新品種「北見22号」

倒伏と斑点病に強い晩生新品種

チモシーは越冬性が優れ、1番草の出穂茎割合が高く旺盛なスプリングフラッシュを特徴とし、特に採草利用では安定的に多収を得ることができます。現在、極早生、早生、中生及び晩生の品種が市販され、極早生と晩生品種では刈取適期とされる出穂始に3週間程度の差異があります。農家レベルの栽培において、刈遅れによる品質低下を避けるためには、早晩性の異なる品種の計画的な配置による十分な刈取適期幅の確保が不可欠です。ところが、現状では早生や中生品種の流通量が多い反面、既存の晩生品種「ホクシュウ」は倒伏しやすいことなどから、採草利用向けとしての積極的な導入は少ない状況にあります。

「北見22号」は、晩生で乾物収量が高く、しかも耐倒伏性が従来の晩生品種に比べて改良された品種です。したがって1番草の刈取適期が最も遅い採草用品種として早生や中生品種などと合わせて利用することにより、良質な貯蔵粗飼料の安定多収に寄与することが期待されます。

(平成16年普及奨励「チモシー新品種候補「北見22号」)

それでは、晩生の新品種「北見22号」の栽培利用上の諸特性について紹介します。

### 【1.形態的特徴】

「北見22号」は「ホクシュウ」と比較して、草丈が高く、茎が太く、葉幅が広い特徴を有しています(図1)。

### 【2.出穂始(早晩性)と乾物収量】

「北見22号」は、出穂始が全道の平均値で「ホクシュウ」より2日遅い6月28日で、早晩性は晩生に属する品種です(表1)。

また、「北見22号」の乾物収量は、2か年(造成2、3年目)の合計値でみると、いずれの地域においても「ホクシュウ」と同程度かやや多収です(表2)。

さらに、「北見22号」の乾物収量は、年次別、番草別のいずれでも「ホクシュウ」に比べやや多収が得られる傾向にあります(表2)。



図1. 「北見22号」の草姿

注) 左: 北見22号 右: ホクシュウ

表1. 道内各地における「北見22号」の出穂始

品種・系統	適応性検定試験地							平均値
	浜頓別	中標津	訓子府	新得	札幌	音更	新冠	
北見22号	6/26	7/5	6/29	6/24	6/27	7/1	6/27	6/28
ホクシュウ	6/21	7/4	6/28	6/21	6/25	6/27	6/26	6/26

注1) 月/日. 注2) 造成2、3年目(2002、2003年)の平均値.

表2. 「北見22号」の乾物収量

品種・系統	道内各地における2か年合計乾物収量								年次別乾物収量		番草別乾物収量	
	浜頓別	中標津	訓子府	新得	札幌	音更	新冠	平均値	2年目	3年目	1番草	2番草
北見22号	(101)	(103)	(104)	(102)	(101)	(105)	(100)	(102)	(101)	(104)	(102)	(103)
ホクシュウ	202.4	176.1	226.8	223.3	223.6	183.4	193.8	204.2	112.8	91.4	154.9	49.3

注1) kg/a. ただし「北見22号」は「ホクシュウ」対比指数.

注2) 道内各地および番草別の乾物収量は、造成2、3年目(2002、2003年)の合計.

注3) 年次別および番草別の乾物収量は道内各地の平均値.

### 【3. 耐倒伏性】

倒伏は収穫作業効率や飼料品質の低下をもたらします。「北見22号」の1番草倒伏程度は、窒素の追肥量にかかわらず、「ホクシュウ」より低い値を示します(図2)。

また、倒伏は風雨により誘発され、それが長期間に及ぶ場合、牧草株密度の減少による植生荒廃や、下位葉の腐敗などによる飼料品質の低下を助長します。「北見22号」の倒伏程度は1番草の生育期間を通して「ホクシュウ」より低い値で推移します(図3)。

1番草刈取期における倒伏の状況を図4に示しました。このように、「北見22号」は乾物収量が高く、しかも倒伏に強い品種です。

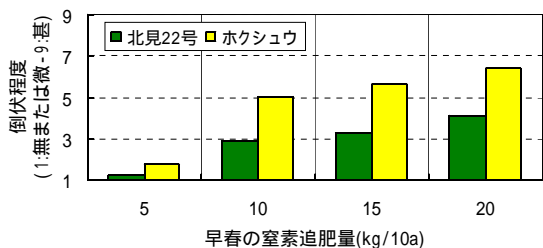


図2. 1番草における倒伏程度  
注) 北見農試(訓子府). 2, 3年目の平均値.

### 【4. チモシー斑点病抵抗性】

斑点病は冷涼多湿条件下で多発する北海道のチモシーにとって最も重要な葉枯性病害です。条件によっては著しい葉身の枯死を引き起こします。「北見22号」は「ホクシュウ」に比較して斑点病抵抗性が改良され(図5)、抵抗性は「強」です。

### 【5. マメ科牧草との混播栽培】

マメ科牧草を混播すると、飼料の蛋白質やミネラル含量が向上し、栄養価が改善され、窒素肥料の節約にもつながります。「北見22号」はシロクローバ混播栽培において、良好なマメ科割合並びに乾物収量を示します(図6)。

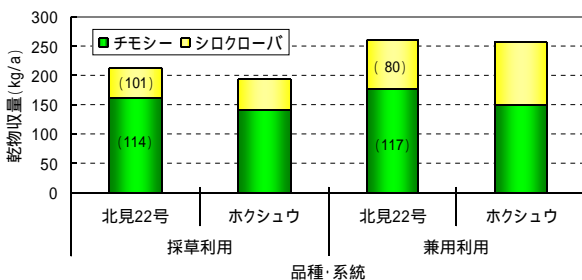


図6. シロクローバ混播条件における乾物収量  
注) 北見農試(訓子府). 2, 3年目の合計値.  
シロクローバは中葉型品種「ソーニャ」.  
括弧内の数値は「ホクシュウ」対比指数.  
兼用利用は1番草出穂始刈、再生草多回刈(放牧想定).

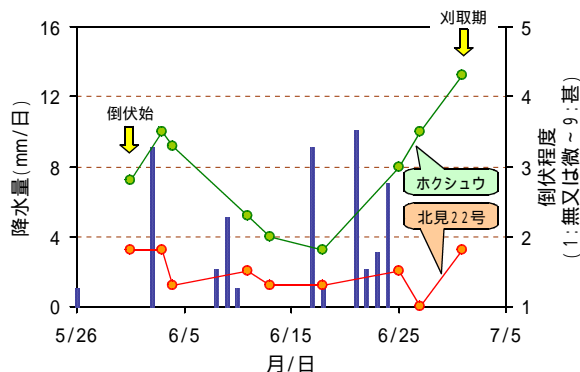


図3. 1番草倒伏程度の経時的推移  
注) 北見農試(訓子府). 造成2年目(2002年).  
棒グラフは降水量.



図4. 1番草収穫期における倒伏状況  
注) 左: 北見22号 右: ホクシュウ

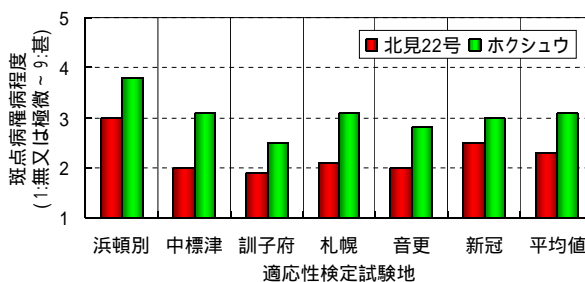


図5. 道内各地における斑点病罹病程度  
注) 各地とも発生が認められた年次、番草の平均値.

### 【6. その他の重要特性】

T D N含有率は「ホクシュウ」と同程度、放牧特性検定試験(道立畜試、新得)における試験成績も「ホクシュウ」と同程度でした。

「北見22号」は、晩生で倒伏や斑点病に強く、採草利用適性が改良された品種です。極早生や早生、中生品種と組合せて刈取適期幅を確保し、貯蔵粗飼料の一層の高品質化を図りましょう。

<品種名> 未定。現在命名登録申請中です。

<育成機関> 道立北見農試作物研究部牧草科

(農林水産省牧草育種指定試験地)

(問い合わせ先: 研究部管理科長 藤井弘毅)